

2025 春 ニッタク展示会 イベントレポート

Day1
2025.3.11

ゲスト： 森蘭政崇選手（BOBSON） / 田添健汰選手（木下グループ）

展示会初日に行ったスペシャルイベントでは、森蘭政崇選手・田添健汰選手をゲストに迎え、新製品ラバー「ジェネクションV2C」をテーマとしたトーク&体験イベントを実施しました。



両選手とも契約20年目！「ニッタクの用具は熟知しているので、張り切っていい宣伝をします！」と意気込み



ジェネクション V2C

絶妙な微粘着の配合で、ボールとラバーのほどよい接触時間を確立。相手の強い回転の影響を受けづらく、特に台上技術においてよりコントロールがしやすくなりました。また、ラケット面をより被せて水平スイングをしてもボールをしっかりと掴んでくれるため、早い打点での質の高いカウンターを可能に。台についてからグッと沈むボールの軌道で相手を翻弄します。質の高い台上技術とカウンターを武器にする、ワンランク上のプレーヤーへ。

ジェネクションV2C に迫る!!!!

今回新発売となるジェネクションV2C(以下V2C)は、昨年発売したジェネクションの微粘着タイプ。現在ジェネクションを愛用している田添選手は「V2Cは自然に変化しやすいので、受け手側はやりづらいと思います。僕はジェネクションに変えてからラリーが安定するようになったのですが、特に飛距離が出るので、台から下がったときに優位です。」と語りました。
また、V2Cを使用して3つの技術を披露。それぞれ感想を語ってもらいました。

カウンター

相手のドライブの回転がどれだけかかっていて低いボールでも、しっかり弧線を描いてカウンターすることができます。
相手の回転が強い場合、薄く捉えてボールの回転の影響を受けないような打ち方をすれば、そうすると表面で滑ってしまいがちです。しかし、V2Cは薄く当てても掴んで入ってくれます。

ストップ

ストップでこんなに戻るのはすごい。回転がかかると安心してプレーできますね。
ゲームの大半を占めるのはサービス・レシーブや台上技術。
特にストップが安定するとよりよい試合運びにつながります。

チキータ

ボールがすごく上に上がりますね。
台の中央くらいにバウンドするように狙っていても、高い弾道で深く入ります。
面を被せて前に振るだけで飛んでいくので、ボールを持ち上げる動作があまり必要ないです。

ジェネクションを使用する田添健汰選手レビュー



回転系技術を重視するならV2C 回転+飛距離がほしいならジェネクション！

回転系技術だけを考えるとV2Cがいいと思うのですが、台から離れた時は、V2Cだと自分のパワーで持っていく必要があるため、飛距離が出るジェネクションを選んでいました。
また、ブロックなどもV2Cは一球一球伸ばして打つ必要があり、その点でもジェネクションの方がやりやすいと感じています。

ハモンドZ2を使用する森蘭政崇選手レビュー



V2Cはカウンターと回転系技術が◎ バチッと当てて擦る打ち方にはZ2！

僕の打ち方はボールに対してラケットを真っすぐに入れて、バチって当ててから擦るからジェネクションシリーズだと、失速して死に球になってしまうんです。
良いラバーなのですが、打ち方が合わないんですね。
ただ、カウンターと回転系技術は引っ掛かりが強いから、すごくやりやすいなと感じました。